

# 企業が Box ではなく Dropbox Business を選ぶ理由

Nucleus Research の調査によると、Dropbox はその TCO の低さ、シンプルなインターフェース、機能性、使い勝手の良さ、個人使用の市場独占率の高さなどにより、職場で Box よりも高い支持を得ています\*。



出典: Boxworks 2014

## ✔ 社員が使いたいと思うソリューション

社員がすでになじみがあり、業務においても愛用できるソリューションを導入することで、IT 部門が承認していないプラットフォームに社員がファイルを保管してしまうリスクを軽減し、快適な作業環境と安全なデータ保管を実現することができます。

- G2 Crowd ユーザーによる Box の評価は 5 段階中わずか 3.8 でした。対照的に、Dropbox は 5 段階中 4.4 で、これまで企業向けストレージ/共有ソフトウェアが獲得した中で最も高い評価を獲得しています。

## ✔ ワークフローをシンプルにして生産性向上

Dropbox には最高水準の同期機能が搭載されており、差分同期、LAN 同期、ストリーミング同期機能がない Box に比べ最大 50 倍のスピードでファイルの同期と共有を行うことができます\*\*。

また Dropbox では、Microsoft Office 対応のバッジなど、パートナーシップを通して新しい機能を開発することでワークフローの改善を実現しています。

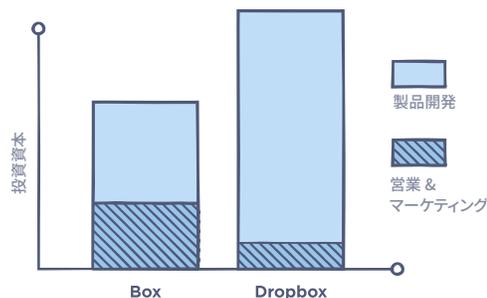
- Box アカウントに保管してあるファイルのオフライン アクセスと同期の設定は手動で行わなければならない、サイズも 5 GB までに制限されています。
- Box は Microsoft との「提携」を強調していますが、インテグレーションが不十分のため、ユーザーに対して、連携による使いやすさやメリットを提供できていません。

## ✔ 使いやすさはそのままに、セキュリティを強化

Dropbox では製品の開発においてさまざまな点を考慮しており、機能数を増やすためだけの開発は行いません。

エンドユーザーと管理者の双方の使い勝手に重点的に取り組むことで、管理における制御性と使いやすさの両立を実現しています。

- Box には 2 つのアカウントをリンクする機能がないため、ビジネス用のデータと個人用のデータを区別することができません。
- Box には管理者による遠隔削除機能やリンクしたデバイスのリンクを解除する機能がありません。



資料: Box, Inc.

\*Nucleus Research ホワイトペーパー『Is It Time to Drop Box?』ドキュメント# 0253 - 2014 年 11 月

\*\*Dropbox、Google ドライブ、Box、Microsoft OneDrive を対象にした第三者機関の調査によるデータ。容量 25 MB のファイル内の 1 KB のデータを変更した場合。